

会議録

審議会等名	令和3年度第5回つくばみらい市国民健康保険運営協議会
開催日	令和3年12月16日(木)
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階 大会議室
出席者	出席委員 中山 栄一、染谷 礼子、守谷 智明、鈴木 美和子、 小菅 新一、青木 一郎、横張 雅彦、岡本 善隆、 飯塚 伸泰 欠席委員 無 事務局 須加尾保健福祉部長、明都国保年金課長、嶋田課長補佐、 飯泉主査、沼尻主査、尾内係長、鈴木係長、興津主事
議案	会議録署名委員の指名 諮問及び報告事項 ・国民健康保険税の賦課方式、税率等の改正について(諮問) ・国民健康保険税の子どもに係る軽減措置の導入について(諮問) ・茨城県国保特別交付金(20歳未満の被保険者に応じた交付)の活用方法について(諮問) ・国民健康保険第二期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第三期特定健康診査等実施計画中間評価について(報告)
議案概要	・開会 午後1時30分 明都課長 ・会長あいさつ 染谷会長 ・会議録署名委員の指名 鈴木委員、横張委員 ・諮問及び報告事項 (1)国民健康保険税の賦課方式、税率等の改正について、事務局より説明した。 <質疑等> 横張委員 諮問1の原案とおりでよろしいかと思う。基金に関しては、今後の対応で適宜に審査していくのがよいと考える。 中山委員 保険税額の8億円の根拠を教えてください。賦課方式を2方式にすることについては、諮問1が妥当と考える。 事務局 8億円の根拠は、予算見積書等を活用し算出。4年度の

	<p>事業費として約43億円を見込んでいるが、そこから国・県からの交付金その他財源を見込み、差し引いた額が8億円となった。納付金の額は不透明なものとなっており、もし今後納付金の増額があった場合は基金の取り崩しを行い補填しなければならないと考える。</p> <p>守谷委員 今回の8億円の試算の仕方は今後も安定的に持続できる方法か。賦課方式変更の諮問で、平等割が廃止になったことは、被保険者にとっては好ましいことだが、全体的に見ると減税になってしまう気がする。医療分の所得割を下げた理由を伺いたい。</p> <p>事務局 必要保険税額を8億円にするという点から税率を導き出した。介護分に関しては40歳から64歳という限定された被保険者になるが、平等に課税され、一番大きな割合である医療分を変更したということになる。</p> <p>守谷委員 集めるべき保険税額を医療分でという考え方はいいと思う。今回の8億円という額は気になるところであるが、収納率の低下等による場合は、速やかに税率負担を見直すというただし書きもできれば付け加えていただきたい。今回提示された諮問で個人的には賛成である。</p> <p>事務局 先ほどの持続可能かどうかという点であるが、今回は剰余金を見込まずに、被保険者に還元する方向で考えた。今後の納付金の額が不透明であることから、基金は取り崩さずに、今後の県の納付金の動きを見て対応していく。今のところ数年は持続可能であると考えている。</p> <p>議長 国民健康保険税の賦課方式、税率等の改正について、原案のとおり答申することに異議はないか。</p> <p>各委員 異議なし</p> <p>(2)国民健康保険税の子どもに係る軽減措置の導入について及び茨城県特別交付金(20歳未満の被保険者数に応じた交付)の活用方法について、事務局より説明した。</p> <p><質疑等></p>
--	---

	<p>守谷委員 意見になるが、子どもの軽減措置については諮問とおりでよいと思う。県特別交付金の期限は明確に出ていないが、終了した時点で改めて検討するということがいいと思う。</p> <p>議 長 国民健康保険税の子どもに係る軽減措置の導入について及び茨城県特別交付金（20歳未満の被保険者数に応じた交付）の活用方法について、原案のとおり答申することに異議はないか。</p> <p>各 委 員 異議なし</p> <p>今後のスケジュールについて、事務局から説明した。</p> <p>（４）国民健康保険第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第三期特定健康診査等実施計画中間評価について、事務局から説明した。</p> <p><質疑等></p> <p>守谷委員 検査値に係る課題で改善が見られないという項目が多いので、長期的な取り組みを継続していくことが重要ということだが、数値があまりよくない理由を健保組合等と比較してわかる範囲で伺いたい。</p> <p>事 務 局 現在他の被用者保険のデータを持ち合わせていないので、被用者保険との比較は答えられない。国民健康保険に関しては、他市町村の中間評価の結果を概観してみると、ほとんどのところで改善が見られない結果となっている。被保険者の年代別人口を見ると、若干高齢化が進んでいる。加齢とともに高血圧、高血糖等の方が増えてくる傾向にあるので、そういったところが影響していると考えられる。今後も受診勧奨を継続的に進めていきたいと考える。</p> <p>守谷委員 健康づくり及び予防は時間がかかるが、日常の健康管理という意識を皆さんに浸透できるよう事業に邁進していただきたい。</p> <p>・ 次回は、2月24日午後1時30分に開催予定</p>
--	--

	・閉会 午後 2 時 4 0 分 明都課長
そ の 他	傍聴人 2 人

以上、上記議事を明確にするため、この会議録を作成し、会長及び会議録署名委員が次に署名捺印する。

会 長

会議録署名委員

会議録署名委員